

て大坂へかへる、

〔町人囊三〕或町人の學者語て云、○中 木具の膳に、蒔繪の椀、神代の風儀とは見えす、

〔茶道筌蹄五〕食器之部

黒塗一文字椀。坪平付、大小とも利休形。○中

網繪椀。原叟好、紀州侯より加州侯へ進せられ候節の好なり、朱に黒にて網の繪なり。○中

糸目椀。如心齋好、腰高添一疊半に用ゆ、外の席へも兼用ゆ、坪平は丸椀、一文字椀の内を假用ゆ、

吸物椀之分

葎。仙叟好、朱、糸底黒ウルミは原叟好。○中

夕顔椀。仙叟好、ハタンリ、夕顔の繪、

〔茶式湖月抄三篇下〕文字椀形寸法

食椀。總高二寸三分、廣四寸七分三分、三厘、香臺高四分、厚一分、廣二寸二分、

椀のふちにひも有之、かうだいの外指か、りのやう、シヤクミあり、内の形は外に順ず、

食椀蓋。總高壹寸六分、香だい高三分二厘、内厚一分、廣二寸、

汁椀。○圖略、總高二寸一分半、廣四寸五分半、カウダイ高四分七厘、内厚一分、廣二寸一分、

同蓋。總高壹寸五分、廣四寸二分、カウダイ高三分三厘、内厚一分、廣一寸九分、

右利休時分より傳來有之家の形なり、内外黒花塗、何れも食椀の圖にまがひ形も同事、

同椀ニ付平皿、并坪皿の形寸法、

總高壹寸六分半、イ八分吉、廣四寸四分、イ三分吉、カウ臺三分一リン、同厚八リン、同ひろさ二

寸一分、面二分、ひも四分半、下ニあり、

同蓋。總高壹寸、廣四寸七分、かう臺三分、同厚七リン、同廣一寸五分三リン、